

認知グループ 4

平成 27 年度 第 4 回 議事録

【年間テーマ 抑制の現状と対応】平成 27 年 10 月 15 日提出

日付	平成 27 年 10 月 10 日 (土)			
場所	天神福岡ビル 9 階		記録者名：横瀬 侑子	
出席者 (敬称略)	泰平病院 永吉 博恵	新吉塚病院 家入 貴裕	広瀬病院 江濱 有子	丸山病院 北村 恵美子
	古森病院 稲村 弘子	東福岡和人会病院 荒木 里子	津屋崎中央病院 大森 裕樹	若杉病院 横瀬 侑子
テーマ	①代替策を自施設で試みた結果報告 ②気分のムラがある患者様への対応			
結論	<p>①Y字ベルト使用者の使用時間を減らす取組→インシデント報告が増えた</p> <p>サイドレールについて→抑制とし柵を見直し職員の認識づけが出来た</p> <p>ミトン使用時間を減らす取組(NSステーション内で見守り・職員が手を握る)→テレビが見れず俯かれる、マンパワー不足、解除には至らなかった</p> <p>②主に気分転換(散歩・塗り絵・ご家族への協力依頼・レクリエーション)が挙げられた。また居室から職員が見え安心感が得られる様に工夫したり、環境変化に対応するため他病棟への協力依頼をする。接し方は声のトーンを抑え話し、味方となり納得していただける様接する。個人の時間にあわせた食事の提供を行う。またセンター方式を使用し本人にとってよりよいケア法を検討する。などが挙げられた</p>			
決定事項	抑制を外せる見守り方法について各施設で持ち寄る			
備考	司会：大森 裕樹 書記：横瀬 侑子			
次回討論項目	抑制を外せる見守り方法について			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@fukuokakenryo.jp

(FAX.092-691-3961)